

県関係文献紹介

- 人と自然の博物館編(1998) 六甲山系
— その自然に関する研究ノート —
(人と自然の博物館刊) A4, 28p.

なかなか瀟洒な出来である。六甲山系の地形・地質についての解説、植物・昆虫に関する解説文も発表されている。全文カラーでの肩のこらない読物風にまとめられていて、楽しく読むことが出来る。

昆虫は沢田佳久博士の"オオタコゾウの定着"、同じく沢田博士等による"兵庫県におけるオオミノガの生息について"の二編が発表されている。(T).

- 沢田佳久・大谷 剛(1998) こんなみつけた! 昆虫編
フィールドガイドブック①
三田市立野外活動センター刊。

文庫版、前編カラー図入りの一般向け、子供向けの虫の探し方と標本にして調べよう、どんな見つけた等の項目で説明されていて、昆虫の採集の仕方、標本の作り方、昆虫の観察の仕方など、いわゆる昆虫研究に至る入門編として参考になる冊子である。(T).

- 内海功一ほか(1999) 千種川の生態
第26集 B5,26p.
(相生ライオンズクラブ環境保全委員会刊)

平成10年に実施された千種川水生生物調査の結果をまとめられたもの。息の長い調査で筆者の所に送られてきているだけでも1982年度分からであるから、17年以上継続されている。今回の報告にもあるが、採集できる虫の数がこのごろになって増えてきている傾向にあり、このことは計算上の判定で良い水質になっていることを示すとある。大変結構なことです。(T).

- 兵庫・水辺ネットワーク "ため池の自然"
A4,20p. (1999-3月)

"ため池王国"といわれている兵庫県、その数44,000といわれているとか。"兵庫・水辺のネットワーク"なる会は3年前に発足、ため池や河川、湿地の生物調査、地域住民や行政と一体になっての保全活動を続けてきた。この度成果の一部をパンフレットにしてまとめたものである。昆虫はトンボ、ゲンゴロウ、水棲カメムシ目などが取り上げられているが、ごく僅かで湿地の動植物、水生昆虫などは第二部としてまとめたいとのこと。いわゆる概説にとどまっているが、カラー写真約百枚を盛り込んで楽しく大変参考になるものとなっている。(T).

- 相坂耕作(1999) 新宮町の陸生昆虫
新宮町自然調査報告I「新宮の自然」 A4,p.119-144.
- 市川憲平・相坂耕作(1999) ガロアムシの新産地と考察
新宮町自然調査報告I「新宮の自然」 A4,p.145-147.

新宮町自然調査報告I に発表になった相坂耕作氏の報文と市川憲平・相坂耕作氏による報文のそれぞれ別冊をお送りいただいた。原本を見ていないのでどのような調査報告書かわからないが、相坂耕作氏の報文はこの新宮町を50回に及ぶ調査の結果をまとめられたもので、蝶とトンボでは絶滅危惧種相当、危急種相当、希少種相当、要注目種などが示されていて、この地の環境を裏付ける結果がまとめられている。チョウ目8科64種、トンボ目11科51種が示されている。甲虫類としては52科324種が記録されているが、甲虫類としては特に注目種のようなものは見当たらなかった。ただ、ルリボシカミキリの産は注目してもよいと思われる。

(ちょっと気がついたが、コクロムビハナケシキスイはコクロチビハナケシキスイ、トゲヒドトラカミキリはトゲヒゲトラカミキリ、カタピロトビハムシはカタピロトゲハムシ、キベリトビハムシはキベリトゲハムシのミスプリントである。)

カメムシ目でも特に注目種は見られなかったが、トホシカメムシ、ウシカメムシ、ヨコツナサシガメ(学名が無い)など面白い種であると思われる。

全般にいえることであるが、各種の詳しいデータがついていないのは残念である。それと学名の変更を要するものもある。美しい蝶とトンボのカラー図版がついている。昆虫全般を一人で調査されるというのは大変だと思われる。その労を多としたい。

貴重な別刷をお送り下さった相坂氏に感謝申し上げます。(T).

- 三木自然愛好研究会研究誌 おもだか (平成10年度)

三木自然愛好会が出来たのは確か平成9年であったと思われる。顧問に錚々たる方を加えられ(紹介者も主催者小倉 滋氏のたつての希望で不本意ながら顧問に名を連ねている)、地道な活動を続けておられたが、今回その研究誌"おもだか"が送られてきた。たぶん創刊号になるのであろうと思うが、"平成10年度おもだか"となっていてそのあたりはよくわからない(1998年度の連絡紙によると第2号となるようでもある)。A4版の45p.のものでその内容はいろいろとあり、わりと植物関係が多い。永幡嘉之氏が"三木市内トンボ雑記"を発表になっている(昆虫の記事はこの一編のみである)。なかなか実践的な報文が多い。楽しく拝見した。今後どのような形で続けられるのかよくわからないが、できれば定期的刊行ができれば幸いである。(T).